

北海道大学アンビシャス博士人材フェローシップ
研究専念支援金および研究費受給者のガイドライン

1. 研究専念支援費および研究費支給の目的

アンビシャス博士人材フェローシップの事業趣旨に則り、本プログラムに選抜された学生に対して、経済的な負担と不安を軽減し、大学院学生が学業に専念できるよう研究専念支援金および研究費を支給するものです。この事業趣旨を踏まえ、研究専念支援金および研究費受給者として相応しい態度で学業に専念しなければなりません。

2. 支給期間

原則会計年度単位とします。会計年度末毎の支給継続審査の結果、継続して受給資格有り認められた場合、最長で標準修業年限内（3年間）支給を受けることが可能です。

3. 支給方法

研究専念支援費（月額 15 万円）は、受給者の銀行口座に振り込みます。
研究費（年額 36 万円）は、所属部局の取扱いに従い、研究費として使途が確認できた支出に対して支払います。

4. 公表

受給者は本学 HP 上で、所属部局、学年、氏名、研究課題名を公表します。

5. 受給者の責務

5-1) 本フェローシップ事業に関連する行事ならびに教育研究活動などへの参加協力

受給者は、採択された募集枠ごとに課される責務のほか、本フェローシップ事業が主催あるいは関連する行事ならびに教育研究活動などへの参加協力の責務があります。

5-2) 修学状況報告書および研究活動調書の提出

研究専念支援費の受給開始後、毎月末に修学状況報告書および研究活動調書（別途様式）を提出すること。

5-3) 受給資格審査申請書の提出

受給開始後、会計年度末毎に受給資格審査申請書（別途様式）を提出して受給資格審査を受けること。申請書の提出については、学務部からすべての受給者に連絡します。

※書類の提出方法および提出先については、別途メールにてお知らせします。

6. 重複支給等の制限

日本学術振興会特別研究員、日本政府文部科学省による国費外国人留学生、日本学生支援機構学習奨励費、海外政府機関等が支出する留学生向けの奨学金のうち他の奨学金等の重複受給が制限されている奨学金の受給者、本支援金等と同等あるいはそれ以上の額の他の給付型支援経費を受給している者などは本研究専念支援費および研究費を受給することができません。

なお、研究活動に支障がない範囲の TA・TF やアルバイトの実施、学会からの学術賞等の賞金（副賞としての「金券」を含む）、有償のインターンシップ等の報酬等の受取は可能です。

7. 支給の停止

受給者の責務を怠った場合、研究専念支援費の支給を停止することがあります。また、受給資格審査により修学状況および成績等に問題があると認められた場合、研究専念支援費の支給を停止することがあります。本研究専念支援費支給開始後に、「6. 重複支給等の制限」に該当する事項が発生した場合は、受給辞退届（別途書式）を提出してください。

8. 返済および返還

本研究専念支援費は給付型につき返済の義務はありません。ただし、研究専念支援費支給期間中に社会規範を著しく逸脱する行為等を行った場合には、受給資格不適格と判断し研究専念支援費および研究費の返還を求める場合があります。

9. 受給者に求められる姿勢

本研究専念支援費は、経済的な負担と不安なく大学院学生が学業に専念できるための支援ですが、受給に甘んじることなく、支給開始後も、より高いレベルを目指して学業に励み、日本学術振興会特別研究員あるいはこれに類似する制度に採用されるよう、継続してこれらの制度に応募すること求めます。

10. 支給開始までに必要な事務手続き（継続の場合、下記は必要としません）

以下の書類を提出して下さい。なお、書類の提出方法および提出先については、別途メールにてお知らせします。

- 1) 誓約書 (継続の場合は不要)
- 2) 口座振込申込書 (")
- 3) 通帳のコピー (")
- 4) 学生証のコピー (")

11. 支給期間中に必要な提出書類

1) 修学状況報告書および研究活動調書の提出

研究専念支援費の受給開始後、毎月末に修学状況報告書および研究活動調書を提出すること。

2) 受給資格審査申請書の提出

受給開始後、会計年度末毎に受給資格審査申請書を提出して受給資格審査を受けること。申請書の提出については、学務部からすべての受給者に連絡します。

12. 受給者に対する通知等の方法

今後、受給者に対する通知は、申請書に記載されたメールアドレスに通知しますので、頻繁に確認するようにしてください。また、申請書に記載されたメールアドレスを変更する場合には下記問い合わせ先まで連絡してください。

13. その他

研究専念支援費は雑所得となるため課税対象となります。従って、自身で確定申告する必要がある他、2年目以降は住民税の課税対象となります。なお、現在、親御さんの扶養親族として社会保険に加入している場合には、親御さんの社会保険から外れる場合があり、該当する場合には、ご自身で国民健康保険の加入手続き等が必要になりますので、区役所にご相談願います。

[本件に関する問い合わせ先]

学務部学務企画課

教育企画・大学院担当

E-mail : kaikaku-station@academic.hokudai.ac.jp

内線 : 5252

修学状況報告書

令和 年 月の修学状況を以下の通り報告致します

受給者氏名				
提出年月日	令和 年 月 日			
当該月の修学状況				
研究専念支援費 受領確認欄	<input type="checkbox"/>	今月分と翌月分を受領しました※	<input type="checkbox"/>	受領していません※
	令和 年 月 日 研究専念支援費受給者 署名： 指導教員 署名：			

※偶数月のみ、「今月分と翌月分を受領しました」又は「受領していません」にチェックすること

受給資格審査申請書

次期（令和4年4月～令和5年3月）の研究専念支援費の受給を希望するので、受給資格審査を申し込みます。

申請者氏名			
学籍番号		学年	
研究専念支援費受給期間の修学状況、研究の進捗状況、研究成果等を詳細に記載すること（必要に応じて欄を広げて記載すること）			
申請者署名	令和 年 月 日 研究専念支援費受給者 署名：		

受給辞退届

次期（令和4年4月～令和5年3月）の研究専念支援費の受給については、以下の理由により辞退いたします。

申請者氏名	
辞退理由 (他の奨学金を受給している等)	
申請者署名	令和 年 月 日 研究専念支援費受給者 署名：

研究活動調書

申請者氏名：	学年：
--------	-----

当該期間内の成果等について記入すること

1. 原著論文および著書：全著者名，題目，雑誌名・巻号・ページ・発行年 (例) Ichiro Hokudai and Jiro Hokudai. Title. names of journals, 1, 10-20, 2021.
2. 学会発表（筆頭演者に○を付ける）：全著者名，題目，発表学会名・開催日時・場所 (例) ○Ichiro Hokudai and Jiro Hokudai. Title. the names of academic conferences, New York, USA, May 20-22, 2021.
3. 学会賞など：受賞者名，受賞の名称，受賞タイトル，授与団体，受賞日
4. その他（特筆すべき事項があれば記載して下さい）

必要に応じて欄を広げて下さい